



平成25年9月1日発行

こがちわ奥さん



大丸エナウエーン株式会社

「こんにちわ奥さん」係

〒559-0022

大阪市住之江区緑木1-4-39

TEL.06(6685)5101

TEL.0120-093-025

http://living-poppo-garden.jp/



彼岸花

彼岸花（ヒガンバナ）という名は、秋の彼岸ごろから開花することに由来します。別名の曼珠沙華は、天上の花という意味ですが、仏教でいう曼珠沙華は白い花で、彼岸花とは似ても似つかぬ、ともいわれます。近縁種の夏水仙の花は白く、韓国ではこの花を相思華（サンチヨ）と呼びます。花と葉が同時に起こることがないため「葉は花を、花は葉を思う」という意味。彼岸花も花と葉が同時に起こることがないので同じ名で呼ばれません。日本では「葉見ず花見ず」と。天上の花、めでたい兆しとされる反面、死人花、地獄花、幽霊花といった不吉な異名も多いのが彼岸花。彼岸は此岸（しがらみ世）に対する言葉で、あの世は極楽浄土なのか地獄なのか。

「こんにちわ奥さん」係から

水の分子が酸素原子（O）2つと酸素原子（H）2つと結合してできていることは学校で学びました。水が液体としてまとまるには、水分子がたくさん連なる必要があります。物質を構成する分子がつながる力にはいろいろな種類がありますが、水分子の場合は酸素側がマイナス、水素側がプラスの電荷を持つようになり、磁石のような働きによって結合します。これを水素結合といいます。

水は、私たちにとってありふれた存在なのですが、実は水ほど不思議な物質はありません。例えば、0℃から100℃もの幅で液体でいられます。こんな物質は他にありません。今回は「水の不思議」（89号）では詳しくふれなかつた、水は水になると何故軽くなるのかを考えます。水蒸気についても。

続・水の不思議 水の強い絆



液体の状態では、水分子は集団になつたり、崩れたりしながら自由に動きます。形を変えたり流れたりできるのです。ところが0℃以下になると、運動のた

め熱エネルギーがなくなり、水分子は動きを止め互いに結合します。水分子は曲がった形をしているため分子同士はすきまが多い形でしか結合できません。しかも水素結合は強い結びつきであるため、分子の間にすきまができ、体積が増えるのです。増える量は10%弱。固体になると体積が増えるというの

は、他の物質にはない水独特の性質です。水は100℃になると沸騰し、分子集団はバラバラになり、激しく動き、猛烈な速さで飛び回ります。これが水蒸気で、蒸気機関はこの水蒸気のエネルギーを利用して使います。ところで、ヤカンの口から出る白い湯気は水蒸気だと思つていませんか。湯気は水蒸気が空気で冷やされて水の粒に戻つたものです。ヤカンの口のすぐ近く、透明な部分が水蒸気。

ガスファンヒーターで冬を快適に



●パワーが強い効率暖房

ガスファンヒーターの最大のメリットは、立ち上がりが早く、短時間で部屋を暖めることです。運転ボタンを押してわずか5秒で点火するのはガスならではの。床に置き下から暖めるため、部屋の空気全体を効率よく暖めます。

●安全、快適、便利

ガスファンヒーターには、転倒時ガス遮断装置など各種の安全装置が搭載されています。定期的な換気は必要ですが、ガス自体はクリーンで、燃焼時の匂いもほとんどありません。燃焼時に水分が出るので部屋が乾燥しにくいというのは、意外に知られていない特長。ガス栓はガスコンセントという安全性の高いものになってきており、ガスコードの脱着もワンタッチ。ガス栓の増設工事も意外と簡単。